

混迷している？英語民間検定試験

2021年1月から開始される「大学入学共通テスト」で導入される英語の外部民間検定試験について、今月の18日、東京大学 南風原朝和元副学長や大学入試センター 新井克弘元副所長らは、都内で記者会見を開き、民間検定試験の制度に問題があるとして利用中止を求める請願書を、野党の国会議員に提出したことを明らかにしました。

英語民間検定試験導入が打ち出されたのは、平成28年3月31日に出された高大接続会議の『高大接続システム改革会議の「最終報告」』において、英語について高校生が受検する民間資格・検定試験の積極的に活用することが求められると記されました。それを受けて国立大学協会(以下 国大協)は、当初、全国立大学で英語の民間試験を活用すると公表していました。しかしながら、東京大学が利用しないと一旦発表し、その後、可否には使わないが入学後に英語のクラス分けで利用するとか、東京大学内でも英語の民間試験の扱いが二転三転するような事態があり、それを受けて国大協内の大学でも活用の仕方が議論されるようになりました。

令和になった今年5月31日、文部科学省は大学入学共通テストで導入される英語の民間検定試験について、国立大学全82校の活用予定を公表しました。その結果、82校中79校が何らかの形で活用することが示されました。北海道大学、東北大学、京都工芸繊維大学の3大学は、全学部で活用しないとしています。

活用する大学の内容には、出願資格とするものから、共通テストでも実施するマークシート試験へ加点するものまで、活用の幅は当初の予定より大きく広がりました。また、英語の力を高校が証明することによって代替できる大学まで出てきました。

高大接続改革では、英語の民間検定試験を利用するようになった理由は、現在の国内外で英語によるコミュニケーション能力の必要性が高まってきたからにほかなりません。今までの「読む」「書く」という2技能だけでなく、「聞く」「話す」という2技能を含み4技能を総合的に育成する必要が出てきたからです。

しかしながら、現行までの大学入試の英語の問題は「読む」「書く」という2技能が主流です。現行の入試では「聞く」「話す」が採点されなかったり、測定されなかったり、4技能が課せられないケースがほとんどでした。このままでは英語で発信する力が身につけることができにくいから、英語の民間検定試験を導入することになったのです。さらに教育現場でも、「聞く」「話す」という授業が疎かにされがちであり、このままでは英語でコミュニケーションのできる人材を育てられないと指摘されてきました。

今回の民間検定試験制度の利用中止を求める請願書が提出されたことについて、今後の動向に注視しましょう。

スタディ・サプリを使う癖をつける

本校では、今年度よりリクルートのスタディ・サプリの使用をすることになりました。3年次は希望者に、1年次・2年次は全員で利用することになっています。利用するにあたっては登録が必要です。登録の済んでいない人は、早く登録してください。

本校の採用しているスタディ・サプリや、予備校の衛星放送、通信教育などの学習教材は、メリットもありますが、必ずデメリットもあります。スタディ・サプリの場合、メリットとしては年間6000円(本来は月額980円)という低廉さ、自分の生活リズムに合わせて利用できること、優れた講師陣による質の高い講義、難関大学からA0入試までの対応、自分に合ったレベルや分からないところまで戻ることができる、などを多くのメリットがあると思います。

物事にはメリットがあれば、必ずデメリットもあります。それではスタディ・サプリのデメリットを考えてみましょう。

まず、教室ではないので質問することができません。かなり丁寧に説明してくれる講義ですが、それでも疑問や分からない箇所が出てくると思います。もし疑問等が出てきて質問したい場合、学校の教科担当に質問するのがよいと思います。又は、その科目を得意にしている生徒に質問するのも一つの対処方法です。

次に、スマートフォンの画面では見にくい時があり、特に、数学や物理の計算で指数などが見えにくいことがあります。

さらに、スタディ・サプリの一番の課題は、自らやっつけようとする意志が必要なことです。いま部活動に忙しい、アルバイトに忙しい、習い事等に行っていて忙しい、などの理由でスタディ・サプリを使わないで日々を過ごしてしまうことがあります。基本的に勉強は自分との戦いですが、計画的に、日々着実に勉強を積み重ねることが、志の高い道に進むことができると思います。そのためにもスタディ・サプリを活用しましょう。

実際、スタディ・サプリを使う際のポイントには、次のことがあります。

1. 到達度テストの結果を生かして効率よく学ぶ
2. 自分のレベルに合ったものから学ぶ
3. 高校の授業範囲の補助ツールとして用いる

1. について、既習漏れや苦手項目が把握できるので、苦手や弱点の箇所を学ぶことができます。

2. について、ベーシックからスタンダード、ハイレベル、トップレベルなど多様なレベルがありますが、自らのレベルに合ったものから行うのがよいでしょう。

3. について、スタディ・サプリを上手く使い、学校の予習復習や、定期テストの対策に使うとよいでしょう。

スタディ・サプリを毎日使えば、学習習慣が身につく、その成果は卒業時に大きく表れると思います。まずは一度、利用して活用しましょう。